

令和4年度 「在宅医療と介護の市民講演会」を開催しました

テーマ：『在宅医療ってなあに？～あなたを支える医療と介護～』

開催日：令和5年2月18日(土) 会場：いいもりコミュニティ会館 参加者62名

【講師】	【講演テーマ】
諫早市 地域包括ケア推進課 すぎやま内科	新野 純子 様 「ご存知ですか 介護保険～諫早市の 濱 うらら 様 地域包括ケアの取り組みについて～」 杉山 啓一 先生 「在宅医療ひそひそ話 ～こんなことしています、訪問診療～」
増山歯科医院 くやま薬局	増山 隆一 先生 「お口から食べるよろこびを」 城島 幸佑 先生 「在宅医療での薬剤師の役割」



初めに市地域包括ケア推進課より、地域包括ケアの取り組みについて、脳トレの実技を交えて介護予防・日常生活支援総合事業や ACP の啓発活動などの説明がありました。

杉山先生からは、訪問診療・往診について、在宅医療とはよりよく生きるため、生活の質を高めるための医療であり、多職種の連携によるチーム医療であるとのお話がありました。

また、増山先生からは訪問歯科診療の実際や口腔ケアの大切さ、誤嚥性肺炎などについてのご講演を、城島先生からは薬剤師の在宅訪問のメリットについて、薬剤の保管状況の確認から残薬の整理や服薬方法、一酸化などを提案されている現状についてご講演をいただきました。

参加された方からは「両親ともに80代で2人暮らし。子供だけで抱え込むことなく、積極的にプロの担当者に相談していけると思うと、勇気と希望が持てました」、「介護について考えるきっかけになりました。家族で話し合おうと思います」、「97歳の義母と同居しています。飲んでる薬がどんな薬で効き目を説明してあげて、残薬を調べてみようと思いました」、「いつまでも住み慣れた地域で暮らせるように、医療・介護・地域の連携がとても大切だと思います」などのご意見をいただきました。

当センターでは、今後も市民の皆様を対象に、市内各地域で「在宅医療と介護の市民講演会」を開催していきます。



令和4年度「在宅医療と介護の市民講演会」アンケート集計

*テーマ：「在宅医療ってなあに？」～あなたを支える医療と介護～

*開催日：令和4年2月18日（土）

*会場：いいもりコミュニティ会館

*講演プログラム

- ①「ご存知ですか 介護保険 ～諫早市の地域包括ケアの取り組みについて～」

諫早市地域包括ケア推進課

新野 純子 様

濱 うらら 様

- ②「在宅医療ひそひそ話 ～こんな事しています、訪問診療～」

すぎやま内科 院長

杉山 啓一 先生

増山歯科医院 院長

増山 隆一 先生

- ③「お口から食べるよろこびを」

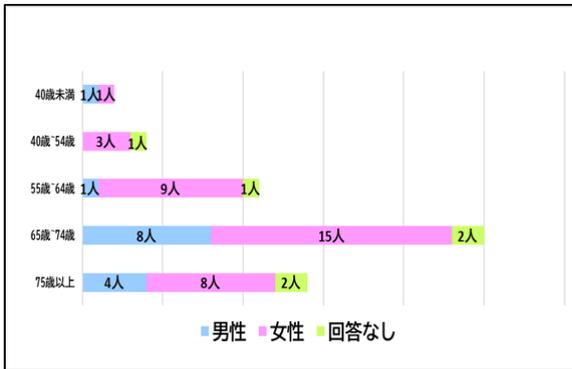
くやま薬局 薬剤師

城島 幸佑 先生

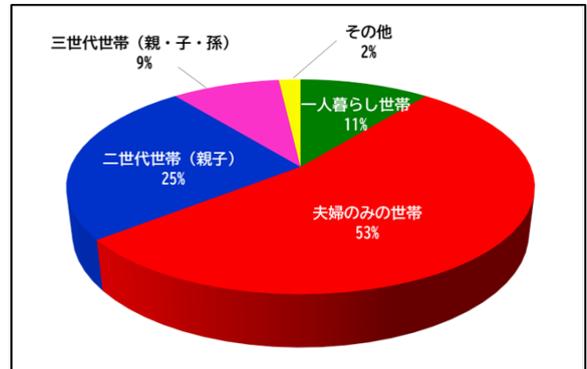
- ④「在宅医療での薬剤師の役割」

参加者数	62人
アンケート回答者数	56人
回収率	90%

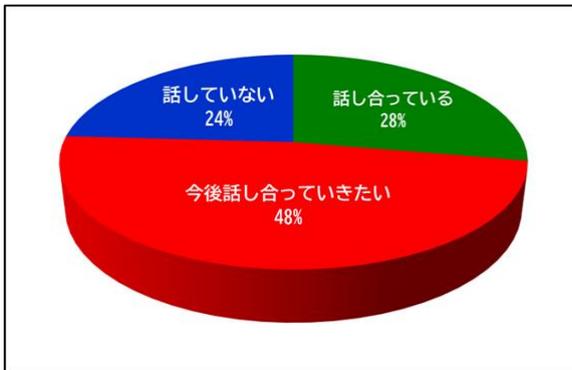
(1)性別・年齢



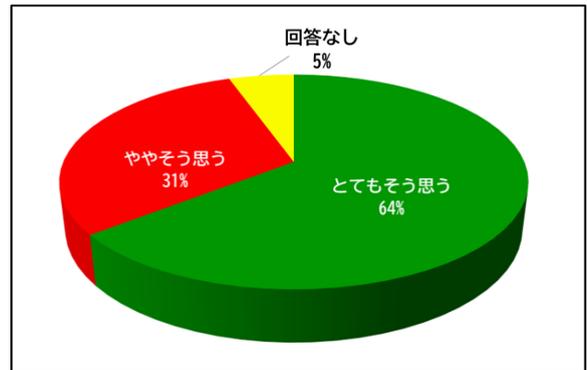
(2)現在、誰と住んでいますか



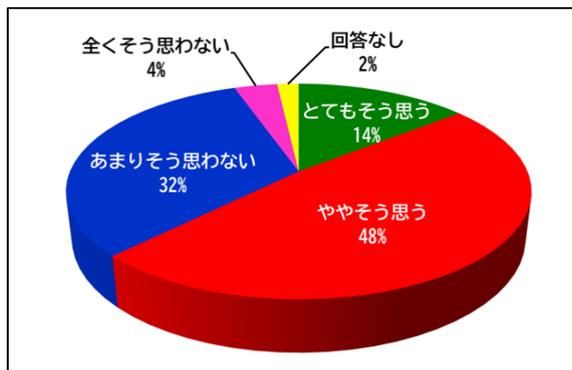
(3)介護が必要になった場合について、 家族と話し合ったことがありますか



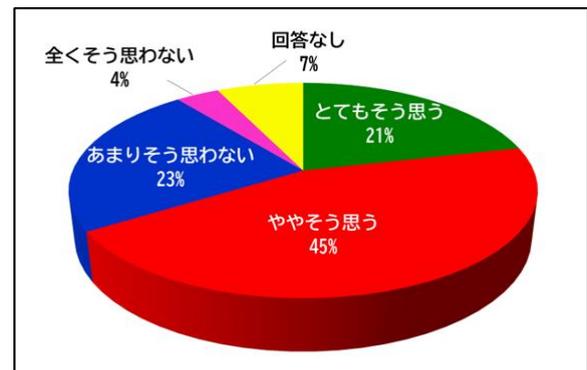
(4)自分や家族の望む医療や介護について、 家族と話しあった方がよいと思いますか



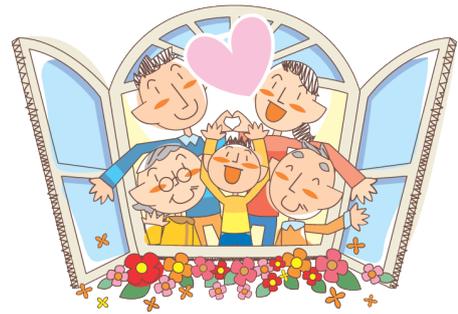
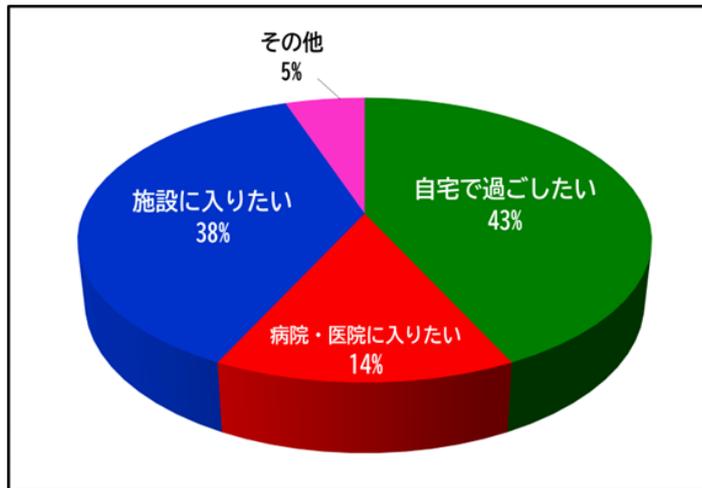
(5)出来れば介護は家族でする方が 望ましいと思いますか



(6)介護が必要になったとき、 家族の世話になりたくないと思いますか



(7)介護が必要になったとき、どこで過ごしたいですか



■ 自宅でも過ごしたい

- ・費用の問題
- ・自分が施設で働いており、施設に入った方が良いのではないかと考えていましたが、やはり家で過ごしたいと思うのは当たり前だと思います。
- ・自宅で過ごされたらいいなと思っています。
- ・住み慣れた自宅で、自分が好きなように過ごしたい。
- ・自宅で出来るといいと思うけど、何か出来ないと思う。
- ・誰でも自宅で過ごしたいです。
- ・気のむくまま生活していきたい。
- ・住み慣れた地域で住み慣れた自宅で、なるべく住みたいと思っている。
- ・自宅で過ごせるように色々なことに気を付けて過ごしていきたい。
- ・家族に負担をかけたくないが、介護サービスなどを使って無理のない程度に自宅で暮らし、大変な時は、入院や施設へ入ると良いと思う。
- ・家で過ごす方が落ち着くし、人に制限されない自由がある。介護度が上がれば、家族に迷惑かけられないので、施設を望む。
- ・苦勞して建てた「マイホーム」です。出来るだけ我が家で過ごしたい。
- ・自由がきくと思う。
- ・子供に迷惑かけない程度の暮らしがしたい。

■ 病院・医院に入りたい

- ・病気をもっているのに、色々不足があり病院へと思いましたが、お話を聞いたら無理のように感じました。
- ・子供達に負担をかけたくない。
- ・自宅は無理なら、病院が安心かな。施設は金額的にどうでしょうか。
- ・主人・娘の世話になりたくない。身内は感情がでる。
- ・迷惑をかけたくない。

■ 施設に入りたい

- ・子ども達が県外に住んでいるために、負担にならないようにしたい。
- ・家族が忙しいから。
- ・家族に迷惑をかけたくない。
- ・自分の事は自分でわかるし、迷惑かけたくない。
- ・夫と二人暮らしでちょっと心配だから。
- ・家でできるのであれば、そうしたいが、難しければ施設が良いかと。
- ・家族の世話になりたくない。
- ・楽しみが多そうだから。
- ・子供や主人に負担はかけたくない。
- ・家族に世話をかけたくない。
- ・家族の負担になるから、距離をおけば優しさもできるから。
- ・家族が介護疲れで、私との関係が悪くなるのは嫌である。
- ・私はわがままなので、家族に世話かけると思うので。

病院とかはわがまま言わないと思う。少しはわがままでもかまわない。

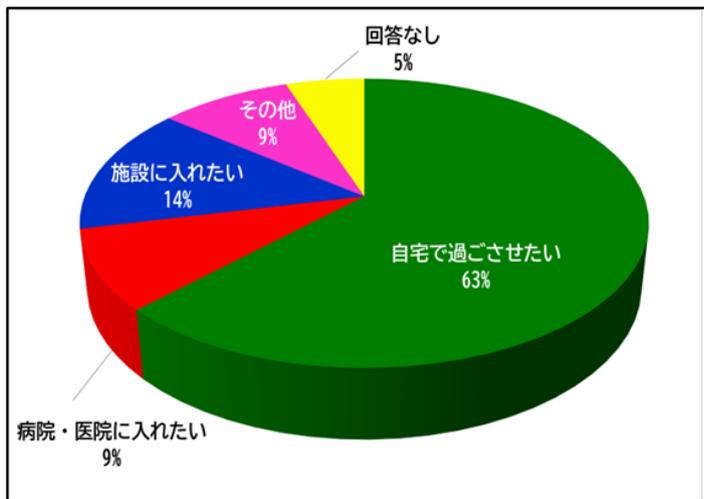
- ・他人とふれあいがあった方が良い。
- ・一人暮らしです。

■ その他

- ・介護者の意見を尊重し、適切な場所を望む。
- ・自分が介護してもらった立場になった時の状態次第ですが、全て介護者の考えに任せる。

住む場所というよりは、介護者の関係性を大事にしたい。

(8) 家族が介護が必要になったとき、どのようにしたいですか



■ 自宅で過ごさせたい

- ・家を大事にしている両親だから。
- ・実家の親について一介護する側も疲れないために施設もありかと思いますが、コロナで面会もままならないなら、自宅での生活もあるのかなと思います。
- ・家族一緒にいたいから。できるならしてあげたい。
- ・6月に入院した母が2週間くらいで退院できるといわれましたが、まだ入院をしています。現実には母は帰って来れるんだろうかと思っています。老い先、短い母を自宅で過ごさせたいなあと思っていますが、何の知識もありません。また実家の母なので色々な問題もあり、悩んでいます。
- ・認知症になった場合は、慣れた所が良いかと思うから。
- ・できれば、住み慣れた自宅で過ごさせたい。知らない人ばかりいる施設より、自宅が過ごしやすいと思う。
- ・できなくなったら、病院等に入れたい。
- ・家族が身近であれば、施設などを利用しても良いかと思う。(週何度か会えれば)
- ・できる限りは自宅だと考えていますが、状況によっては、施設も視野に入れています。
- ・お手伝いを頼みながらみてあげたい。
- ・その方が幸福かなーと思うので。
- ・私ができる事はしてあげたい。
- ・できるだけ自宅で過ごし、たまには病院にもお願いしたいと現在は思っています。
- ・配偶者の場合、自分で世話をしたい。

- ・家族に負担をかけたくはないが、介護サービスなどを使って、無理のない程度に自宅で暮らし、大変な時は、入院や施設へ入れると思う。
- ・自宅ペースでショートステイを利用し、介護から解放される時間を作りたい。
- ・主人とかは家で世話したいです。在宅医の方と看護師さん達、色々な方にしてもらいながら。
- ・自分自身に体力があるなら、お互いに安心かと思います。
- ・苦勞を共にした夫婦です。最後まで一緒にいたいです。
- ・小さいことに気づきやすいと思う。
- ・仕事の両立ができる範囲でやっていきたい。

■ 病院・医院に入れたい

- ・何かあった時たよりになる。
- ・自分が出来る限りはしたいと思う。
- ・家庭だったら、感情がでるので線を引きたい。

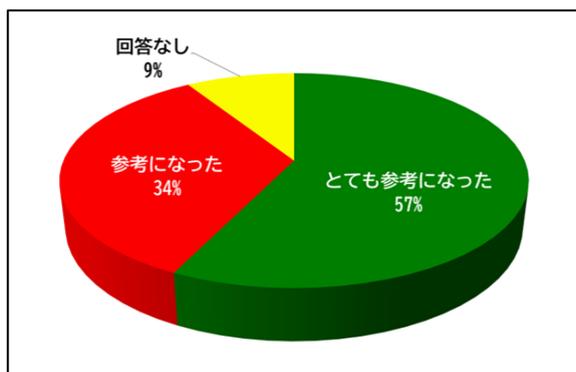
■ 施設に入れたい

- ・できる限りは自宅で過ごしたいという本人の意見があれば、叶えてあげたいと思います。
- ・父を自宅で看取りました。後悔はないですが、もう体力がありません。
- ・義母が90歳から元気に過ごした（8年間）のが良かったので、それ以上介護したいと思えません。
- ・専門職がいる所が安心。介護の負担を負いたくない。
- ・人との接触を多くさせたい。
- ・一人暮らしです。
- ・全くわからないから。

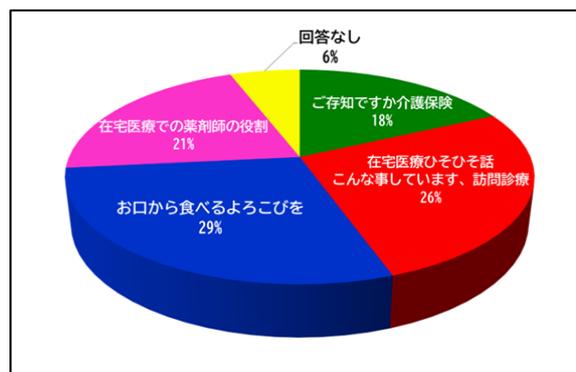
■ その他

- ・わからない。
- ・本人の望む場所
- ・一つ選ぶことができません。
- ・私は介護に対しては、不満は少ないので、本人の気持ちに寄り添いたい。本人に決めてもらいたい。
- ・一つだけは選ぶことは難しいです。

(9)本日の講演は参考になりましたか



(10)特に参考になった講演はどれですか (複数回答可)



(11)本日の講演会についてご意見をお聞かせください

- ・両親二人共80代で二人暮らし。今から本格的に介護が必要になってくると考え参加しました。とても興味深く拝聴しました。子供だけで抱え込むことなく、積極的にプロの担当者に相談していけると思うと、勇気と希望が持てました。本日はありがとうございました。
- ・高齢の実家の両親をどう過ごさせていくか、持病がある・認知の問題、日々考えていましたので、これからの参考になりました。ありがとうございました。
- ・本日の講演を聞いて、考えていかなければならないと思えた。今スタートについてという感じです。
- ・介護について考えるきっかけになりました。家族で話し合おうと思います。このような講演会を開いていただき、ありがとうございました。飯盛がますます地域みんなで、弱い人、困っている人の見守り助け合える町になるよう、微力ですが、私も動いていきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすく、良い勉強になりました。ありがとうございました。
- ・どの講演も身内や仕事に対して勉強になる内容ばかりでした。在宅医療の対象になる人、オーラルフレイルを進めることで改善点、共通事項として、認知症の方へのアプローチの仕方もそれぞれ工夫されていることがよく分かりました。本日は貴重なお時間ありがとうございました。
- ・在宅医療を行うには、ご家族の理解、協力と教育が大事になってくると思えます。ご家族へ正しい知識を普及することが難しいし、大変なことだと思います。でもこのような講演が感銘を受けました。
- ・介護の方法がもっと詳しく聞きたかった。
- ・貴重なお話しありがとうございました。
- ・訪問薬剤師があるのを今日知りましたので、利用可能な場合は利用させて頂きたい。
- ・口から食べることの大切さが、説明もわかりやすく参考になりました。意志で飲み込む事、フレイル等これからの介護には必要な講演会に出席し良かったです。薬や在宅医療も参考になりました。
- ・大変勉強になりました。

- ・よく、分かり易かった。体操も中に入れ、リラックス出来て良かった。
- ・体操について、利用者の方々は年々年を取り、今までの体操は厳しくなり、やりたくない方々も増えております。内容を検討して下さい。(現在、85-90代が多いです)
また、サロンで口について講演していただきたいと思います。
- ・とても良かった。
- ・在宅医療の実情と体験の話をもっと聞けたらと思いました。(市で何人?)
私は、97歳の義母と同居しています。食べるのが大好きなので口から食べる話がとてもためになりました。「私は食べれるから、元気で生きてる。食べなくなったら、死なんばいけん。」と、口ぐせでいいながら、三度の食事を楽しみにしています。
日頃から飲んでいる薬が、どんな薬で効きめを説明してあげて、残薬を調べてみようと思いました。
- ・歯科の訪問診療の内容が解り勉強になった。薬剤師さんに分からないこと(副作用等)は聞いて良いことが分かり、今後役に立てたい。
- ・質問できずすみません。
- ・コロナで入院・施設へ入っても面会できず、在宅療養で亡くなる方が増え、仕事上何人かの人を自宅で看取りまで、受け持つことができました。家族様も最後まで病人さんを見られ、子供さんから孫さんまでそらい最後を迎えられ感動しました。そして、在宅医療はスタッフの連携が大事だと思いました。
- ・家族を最後まで自宅で過ごさせ看取りたいと思っても、実際病状や認知症状にあわせた対応ができるかと不安がありましたが、分からない事、対応の仕方など専門の方に聞きながら、可能な限り家族の思いに添う生活をさせることができると思い安心しました。相談対応して下さる窓口が多数ある事で安心しました。
- ・いつまでも住み慣れた地域で、暮らせるように医療・介護・地域の連携がとても大切だと思います。
- ・現在の諫早市の取り組みがよくわかり良かった。実現できれば、年をとっても安心できる。
最初、会場が寒かった。
- ・飯盛地区の在宅医をしてくれる先生はいらっしゃるのか。介護を自宅でするとしてヘルパーも必要と思うが、対応してくれるヘルパー事業所がどれくらいあるのか気になります。
- ・あまり自分が不自由になった時の事とか考えたくないですが、夫と子供達と話し合っておこうと思いました。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。
- ・健康寿命の為、気を付けたいです。
- ・非常に良かった。

- ・高齢者のみの世帯なので、今後の生活が心配。今後も夫婦ともに講演会等通じて勉強していきたい。子供二人おりますが、他県にいるので、自分が住んでいる地域の皆さんとのつながりを持っていきたいと考えています。今日は貴重なお話をありがとうございました。トイレ休憩時間がほしかった。
- ・地域とのつながりが大事。飯盛は地域の周りの人達の協力があるのはいいなと思いました。
- ・中学生の子供達も徘徊の人を探しているのが、すごいなと。最後まで看取る事ができるのはすごいなと思った。
- ・すべての講演がとても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・介護のことを詳しく教えていただきました。ありがとうございました。勉強になりました。
- ・これからくるであろう地域の？世界が少し見えた感じ。色々と準備しなくてはいけなさそう。皆様、ご苦労様です。